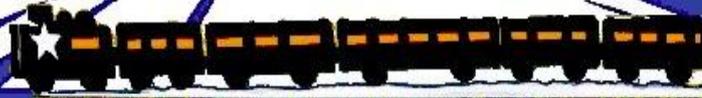




The Y's MEN'S CLUB of もりおか



<VOL131.2018.11>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Moon Sang Bong (韓国)	「私達は変えられる」
アジア地域会長	田中 博之 (日本)	「アクション」
東日本区理事	宮内 友弥 (武蔵野多摩)	「為せば、成る」
北東部長	涌澤 博 (仙台青葉城)	「チャンス到来、我ら北東部から世界へ」
もりおかクラブ会長	三田 庸平	「繋がりを大事に、見据える世界の扉」
		副題「ワイズの明るい未来を見つけましょう！」

今月の聖句 創世記1章11節

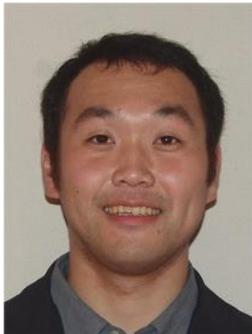
 「地は草を芽生えさせよ。種を持つ草と、それぞれの種を持つ実をつける果樹を、地に芽生えさせよ。」

会長	三田 庸平
副会長	長岡 正彦
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	浅沼 慧 (しどう)
	中村 渉 (チャン)

12月定例会のご案内

日時 平成30年12月8日 (第2土曜日) 18時30分
 場所 内丸教会 2,000円 クリスマス例会です。
 1,000円程度のプレゼントをご用意ください
 第二例会 12月21日(第3金曜日) 18時30分
 場所 駅前通り。「じよ舎」

三田会長巻頭挨拶



三田会長

家から出たくないような寒さになりつつある盛岡。岩手山にも雪が降り、平地にも一度雪がちらつきました。枝についていた葉っぱも落ち始めました。もうこの時期が来たかと思っております。盛岡では活動が活発となり、それぞれ参加してまいりました。国際協力募金・北東部会の評議会・YMCA

大会がありました。出会う事の素晴らしさを実感しております。

さてこの時期になると、インフルエンザの流行がそろそろかなって思っております。手洗い・うがいをこまめにやっております。去年の大流行があったこともあり、少しびくびくしております。今年もインフルエンザに打ち勝って、もりおかクラブは誰もインフルエンザにかからず、この冬も出席者が多く賑やかな例会を目指していきたいと思っております。

また、先日濱塚メン・長岡メンと学童のお泊り会のお手伝いに行きまして。子ども達の元気に我々が元気を頂いた気がします。手伝いにも積極的なワイズでありたいです。

11月定例会の報告

平成30年11月10日(金) ジャーラン・ジャーランにて開催、三田、山口、井上、大関、中原、中原陽子、村上、長岡、千葉、根内、根内直美、魚住、濱塚、古澤、浅沼(敬称略)。ゲスト、加藤 淳さん(南部片富士印、大豆「秘伝」生産者、笹川 大地さん(ラフ)、齊藤七彩さん(トラック)、尾形裕一郎さん(チュウ)以上19名の参加で開催されました。

激動の11月の始まりの例会でした。今月は、盛岡 YMCA やもりおかワイズの活動が多数あり、メンバーを分けて行事に参加させなくてはなりません。そんな11月の例会のスタートです。

今晚の卓話は、加藤淳さん、滝沢市でオーガニック農業で、大豆を生産している方です。大変興味深いお話をいただきました。この後、特集しております。お楽しみに。来年、3月に DBC の岩国みなみクラブの高瀬さん御一行が来盛することが決まり、本日発表になりました。3月ですとだいぶ春めいてくる頃です、初めて来盛した時は真冬で、氷点下10℃を下回る頃でした。思い出しました。でも靴は底にきざみがあるものを履いてきてくださいね。

充実した例会の夜はふけていきました。来月はクリスマス例会になります。楽しみです。

南部片富士印、大豆「秘伝」のお話。

加藤 淳 さん



加藤 淳さん

こんばんは、加藤です。皆さんに私が作った豆の漬物をお配りいたしました、どうぞ食べてみてください。塩を効かせておりますので他では無い物です。豆の旨味が凝縮されていてとても美味しいと思います。とあるバイヤーが何を使ったのかを質問されましたが、塩だけだということを知って貰えませ

んでした。この事が私の自己紹介で、この豆を食べて貰えれば今晩はこれで終わりでもいいです。

今回はお招きいただきありがとうございます。農業をはじめて8年になります。農業が本職で、本業は保険の代理店を行っております。東日本大震災で、盛岡はほとんど被害がありませんでしたが、物流が止まり物資が不足しました。それまではお金があれば何でも手に入るということになんの疑問もいっていませんでした。お金があっても手にはいかないものや事態がある事を体験しました、これが農業を始めるきっかけになりました。

YMCA のレポート用紙に「強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う」。納税は義務ですよ、一旦、懐に入ったお金は出したくない、人情です。しかし納税すればしっかり稼げる。目的はどっちなの？、義務が権利より前に来る。すごいことに気付かされました。納税は国民の義務ですが、YMCA 関係者の義務はもっと次元の違うところにあるのでしょうか。だれに対しての義務なのでしょう。みんなが豊かになるための義務を果たしましょう、人間、動物、植物に対しての義務、私の農業の就業の義務は自然を大切にしなければならないというものだとあらためて感じた次第であります。

私の畑は、滝沢の岩手山の麓にあります。季節の移ろいを感じながら一人黙々と大豆「秘伝」作りに勤しんでおります。春から夏までは、季節を感じていますが、農繁期は季節の移ろいを感じる間もなく2ヶ月が経過します。ふと気づくと夏から紅葉の季節になっております。私の大豆は味が濃いです。何でこの濃い味がでるかと言うと、人間もそうですが過保護の環境にいますと味が薄くなります。植物も同じで厳しい環境で育てて行くとそれに応えてくれます。無農薬、無肥料の放置状態です。環境を壊したくないからです。南部片富士のお山との約束として、自然を守るために私の義務としております。オーガニック農業という定義があります。「科学的に合成された肥料、農薬を使用しないこと。ならびに遺伝子組み換え技術を使用しないこと。農業生産に由来する環境の負荷を低減する方法を用いて行われる農業。」とあります。「有機農業は伝統と革新と科学を結びつけ、自然環境と共

生してその恵みを分かち合い、関係するすべての生物と人間との間に公正な関係を築き、命、暮らしの質を保管する。」私の豆は周りの環境に作らせて頂いております。今日は、ここにたくさんの方がいます。人がいればいろんな方がいます。生産者だけではなく、生産者の独りよがりではだめです。作る人、運ぶ人、消費する人、それがすべて備わって私たちの農業がなりたつのです。要は消費者でも立派に農業に関われるのです。少しずつお互いの立場に興味があれば、情報は共有できます。そんなことを考えながら土まみれで美味しい大豆を作っております。

春、まずは畑の荒起しから農作業の始まりです。うぐいすやかっこうが泣き始める5月に、種まきです。ネットを掛けて発芽を待ちます。ネットを掛けないと野鳥の被害を受けます。私の大豆は野鳥の間で噂になっているようです。双葉から本葉が出てきた頃に、植え替えを行います。この作業が前半戦の山場です。畑はスギナに覆われていますので、除草を行います。手作業で、もちろん薬品は使いません。7月頃まではどんどん上に伸びて、やがて脇芽が出て、横に伸びはじめます。やがて小さな花が咲きます。自分の子どもができたような感覚を味わいます。8月のお盆の頃にはサヤが大きく育ちます。もう少しで収穫です。枝豆に夢中になり周りの木々が紅葉したのも気が付きません。木が枯れ初めてさやの中の実を取り出して収穫が終わります。

畑をしてわかった事です。害虫がついて葉を食べられます、「これは、枯れるな。」と思ったのですが、新しい葉がどんどん出てきて枯れません。害虫だとわかっていても駆除しないで大豆に任せます。「僕たちすごいでしょう。」という声が聞こえるようです。昨年8月の台風襲来の時です。風が吹いて木が折れました。前日大豆たちとミーティングをして、「お前たち倒れるなよ。」言い聞かせていました。しかし半分の大豆は風に負けて倒れていました。その中の5本だけは、倒れずに折れていました。きっと頑張りすぎたのでしょうか、「倒れてもいいよ。」と、言っておけば折れなかったような気がします。日々、大豆と向き合っています、素直な子どもたちです。私のオーガニック農業のエピソードでした。毎回新しい発見の連続です。来年今度は何がおきるのでしょうか。



11月第1例会、集合写真

盛岡 YMCA、前潟学童お泊まり会

11月17日、18日、前潟学童保育においてお泊まり会が行われました。8月の夏休みに実施予定でしたが、2日前に市内で起きた強盗事件の犯人が捕まっていなかった事を受け、実施を延期してこの日になりました。もりおかワイズからは、三田会長、長岡メン、濱塚メンが応援に参加、クラブは富士宮やきそばと焼き肉

を調理して子どもたちに夕食を提供しました。

とても天気が良く、3時頃に前潟に到着しました、子どもたちはすでにプログラムがスタートしていて、児童公園では参加の子どもたちの歓声が響き渡っておりました。夕日を受けて元気に遊ぶ子どもたちには、長い影がまわりついて、私の子どもの頃にやった影踏みの遊びを思い出しました。今の子供達は影踏みな



長い影がノスタルジアを感じます、
しておりました。約30人の子どもたちに40食の焼きそば、3Kg
のラム肉の焼き肉を調理して提供、旺盛な食欲の子どもたちは

んで遊び方もし
らないでしょうね。
影を踏もうとす
るとダッシュで逃
げたり、しゃが
んで影を短くしたり
遠い昔を思いだ

一気に平らげてくれました。嬉しいものです、またなんとかわい
い子どもたちでしょう。こんな喜びを体験できるから YMCA のプ
ログラムはいつも楽しみでなりません。



すごろくゲーム大成功



美味しいでしょ、焼きそば

「ズリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

11月の出席率	13/14	92 %	ゲスト 4名	ビジター 0名	メネット 2名		
メーキャップ	1	名		10月切手	10	g	累計 333 g
11月のにこにこ	20,500	円	累計 40,500 円	10月プルタブ	115	g	累計 22,350 g
11月 石鹸	2,000	円	累計 3,610 円	りんご	0	円	累計 円
11月 献金		円		ファンド合計	34,410	円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674
もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

11月のハッピーバースデー 全国の11月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます。

YMCA 大会2018開催、そして元気に参加！

三田庸平会長

11月23日～25日に行われた YMCA 大会に参加して参りました。つどえ東山荘に！～すべての“Y”がつながる日～というテーマで行われました。素晴らしい天気の中で行うことが出来ました。約250名の方が集いました。

23日は、7時30分に盛岡を出発。新幹線・在来線を乗り継いで12時過ぎに御殿場駅に到着。昼ごはんを食べて、東山荘に到着。15時過ぎからオープニングセレモニー・ウェルカムパーティー

紅葉と富士山が出迎えてくれました。一が行われました。オープニングセレモニーでは盛岡 YMCA スタッフの武田悠さん・向平悟さんのゲーム大会があり、会場を盛り上げていました。ウェルカムパーティーでは、立食という形で、様々な方々と懐かしい話で盛り上がりました。

また、晩餐会では YMCA のリーダー達とそれぞれの YMCA の話

を聞いたりして盛り上がりました。

24日は礼拝から始まりました。その後は、グループワークの1日でした。様々な議題にそって話をして意見交換をしていました。様々な目線からの話は出来て実のある話が出来ました。夜はキャンプファイヤーでした。宮古ボランティアセンターでも活躍して頂いた、佐久間さんによるプログラムでした。ユース・シニアみんなが楽しめるプログラムでした。様々な方と触れ合えるプログラムでした。また、ワールドカフェという時間も行いました。プログラム後はキャンプソングを歌ったり猛獣狩りというゲームをして盛り上がりました。その後は晩餐会で日をまたいで色々な話をしてよい時間を過ごせました。

25日は朝ごはんを食べた後は、グループでの振り返りを行いました。グループワークを通して様々な事を感じ、成長できる時間でした。振り返りの後は、クロージングセレモニーが行われました。その後は、昼食を取り東山荘を出発して盛岡に向かいました。19時頃無事に到着し、解散いたしました。

3日間通して、YMCA の大きさ、仲間との出会いの大事さを感じました。自分たちの成長に素晴らしい時間を過ごせました。

国際協力募金2018、開催！寒いよ～

11月23日、内丸教会をベースにして国際協力募金活動が開催されました。もりおかワイズからは、長岡メン、中原陽子メネットが参加。長岡と中原メネットは内丸教会で寒い中活動している子どもたちとリーダー、スタッフの昼食を準備しました。

この日、起きると、なんと集合時間の10時を30分もオーバー

しているではありませんか。慌てて教会に駆けつけました。前日夜にカレーの下ごしらえが済んでいたもので、事なきを得ましたがこれはいけません。反省です。メニューは数年前から定番になった、カレーと唐揚げです。ほっぺを真っ赤にした子どもたちが4ヶ所の募金場所から交代で教会に戻って昼食をとりました。「昼のカレーが楽しみで参加しているんだよ。」なんと嬉しい事を

言ってくれるんだ。寝坊の失敗も吹き飛ばす元気が出る言葉をいただきました。この日の募金総額は18万円以上に上り、発展途上国に援助した場合の価値は5倍以上の値打ちがあると説明して子どもたちは驚いていました。責任者の小川君(さる)の「支え合って生きているんだ。人間は一人では生きて行けない。大事な支えということをよく噛み締めて行きましょう。」の言葉に参加者全員感動。さるも、いいことを言うようになったものです。温かいホットミルクも完食、もちろんカレーも唐揚げも、全て完食です。大成功でした



子どもたちの志に多くの市民が賛同して募金をくれました。ありがとうございます。

もりおかクラブ、りんごファンド

今年も、**もりおかりんご**を販売いたします。「りんご工房きただ」さん自慢の、完熟サンフジ(蜜がたっぷりはいったりんご)になります。「りんごってこんなにおいしかったの」と納得の味をご賞味ください、この季節お歳暮にも最適です、みなさまの注文をお待ちしております。特選の品質確保のため12月20日で注文を締め切ります、お早目のご購入をお待ちします。

ご注文はFAXメールをお願いいたします。

FAX番号 019-684-6361 フジクリーンイワテ
 メール fjc.takjouk88@ec1.technowave.ne.jp
 郵便番号、住所、氏名、商品名、数量、送付先、を連絡ください
 贈答の場合は、送付先の情報もお知らせ下さい。
 料金は口座振込でお支払いください。
 (株)岩手銀行滝沢支店 銀行コード0123
 普通口座2031300
 もりおかワイズメンズクラブ 井上修三

りんご工房きただの「こだわりりんご」でございます。
 サンフジ、秀、2L、10Kg、28玉、10000円(送料、税込み)
 サンフジ、秀、2L、5Kg、14玉、6000円(送料、税込み)

出荷時には無農薬になるような減農薬栽培で作ったりんごです
 生産量は青森、速さでは長野、食べておいしい岩手のりんご、
 晩生のフジは日本一です



霜月、11月。盛岡初冬の風景。

秋が終わり、季節は冬に向かっていきます。バイト明けの29日早朝、初冬の盛岡の風景を見たくて、朝早く高松の池に出かけてみました。まだ日がささない6時30分頃の岩手山の風景です。そして、太陽の光を受けて水面に浮いている白鳥の綺麗な写真が取れました。「行動すれば何かがある」、11月なんてなんにもないと思っておりましたが、こんな寂しい季節でも盛岡は意外にすばらしいシーンを届けてくれます。



こちらの岩手山は、朝焼けに染まる開運橋からの岩手山です
 こちらの岩手山も初冬の風景です。もうじき本格的に冬将軍と戦う
 季節を迎えます。冬は冬なりに季節を楽しみましょう。やっぱり
 盛岡は「がんすけどん」と一緒に季節が進むのだと感じました。
 やっぱり岩手山はいいなあ。

編集後記

11月3日に、盛岡 YMCA のサッカー教室の総仕上げ、チャレンジカップが開催されました。予選リーグから決勝トーナメント、三位決定戦まで、子どもたちは優勝できなくても休む間もなく試合の連続でした。こんな運営方針ですから、親も含めて楽しい一日になっていると思います。

久しぶりに岩手山と向き合いました。わがふるさとのお山「岩手山」、これからも私達にその勇姿を見せてくれることでしょう。よろしくね。

昨年、仕事をリタイアして一年と少し経ちました。収入が激減するなか、なんとかワイズの活動も継続できております。アルバイトを続けて頑張っております。ブリテンの発行も継続できております。皆様、これからもよろしくお願いたします。



例会の乾杯のシーンで今月はお別れです。また来月お会いしましょう